

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 建物附属設備、什器備品 … 定率法によっている。
 ソフトウェア … 定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
 退職給付引当金 … 期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	550,000,000	0	0	550,000,000
小計	550,000,000	0	0	550,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	7,275,194	1,661,407	0	8,936,601
調査研究特定預金	2,846,116	28	0	2,846,144
小計	10,121,310	1,661,435	0	11,782,745
合計	560,121,310	1,661,435	0	561,782,745

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	550,000,000	(0)	(550,000,000)	—
小計	550,000,000	(0)	(550,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当預金	8,936,601	—	(0)	(8,936,601)
調査研究特定預金	2,846,144	(2,846,144)	(0)	—
小計	11,782,745	(2,846,144)	(0)	(8,936,601)
合計	561,782,745	(2,846,144)	(550,000,000)	(8,936,601)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,850,895	1,266,289	584,606
什器備品	5,763,310	5,211,538	551,772
ソフトウェア	26,389,746	23,327,748	3,061,998
合 計	34,003,951	29,805,575	4,198,376